

人々の気持は変わってきている。それは大きな危機の姿がおぼろげながら、見えてきているからである。長い間つづいた泰平ムードは今や破れようとしている。それは足元に大きな暗い穴があいていることに、人々は気づきはじめたからである。とはいえ、なお多くの人々は、日本と世界の危機について眼を閉ざし、ひきつづき泰平の生活をおくろうとしているのである。大きい危機の姿が見えていようとも、その危機の上に分が身を置き、その危機を自分のうちに見るのでなければ、危機の自覚は生まれない。ひとたびつりだされた泰平ムードにとられた人の心は、日々の生活、日常の相対的な生活や事務だけにむすびつけられていて、その背後に動いている絶対に向けられることがないのである。